

様式第19（第1条関係）

地域医療支援病院業務報告書

令和7年 9月17日

愛知県知事殿

開設者 住 所 春日井市鳥居松町5丁目44番地
 氏 名 春日井市
 春日井市長 石黒 直樹

下記のとおり、令和6年度の業務に関して報告します。

記

1 病院の名称等

名 称	春日井市民病院					
所 在 地	春日井市鷹来町1丁目1番地1					
診 療 科 名	内科、腎臓内科、糖尿病・内分泌内科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、精神科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓外科、血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、歯科口腔外科、病理診断科、救急科					
病 床 数	精 神	感 染 症	結 核	療 養	一 般	合 計
		6			552	558

2 施設の構造設備

施 設 名	設 備 概 要		
集 中 治 療 室	(主な設備) 救急蘇生装置、除細動器、ペースメーカー、心電計、ポータブルエックス線撮影装置、呼吸循環監視装置		
化 学 檢 查 室	(主な設備) 生化学自動分析装置、免疫自動分析装置、アレルギー分析装置		
細 菌 檢 查 室	(主な設備) 自動同定感受性分析装置、血液培養鑑定装置		
病 理 檢 查 室	(主な設備) 自動免疫染色装置、自動包埋装置、凍結標本作成装置		
病 理 解 剖 室	(主な設備) 解剖台、解剖用電動ノコシステム、遺体冷蔵庫		
研 究 室	(主な設備) ACLSトレーニングシステム		
講 義 室	室数 6	収容定員 162 人	
図 書 室	室数 1	蔵書数 7,700冊程度	
救 急 用 又 は 患 者 搬 送 用 自 動 車	(主な設備) ストレッチャー		
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床面積 33 m ²	
	[共用室の場合]	室と共に	

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

2 規則第9条の2第1項各号に掲げる事項を記載した書類を添付すること。

別紙1

紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

1 算定期間 令和6年 4月 1日 ~ 令和7年 3月 31日

2 紹介率 90.6%

紹介患者の数 (A)	初診患者の数 (B)	紹介率 (A/B × 100)
23,859人	26,322人	90.6%

3 逆紹介率 124.4%

逆紹介患者の数 (C)	初診患者の数 (B)	逆紹介率 (C/B × 100)
32,759人	26,322人	124.4%

※1 各人数については、前年度の延べ人数を記入すること。

※2 紹介率及び逆紹介率は、小数点以下第1位まで記入すること。

※3 紹介率が80%以上であることを承認の要件とする場合で、紹介率が65%以上80%未満の病院にあつては、今後、2年間で紹介率を80%以上とするための具体的な年次計画を明らかにする書類を添付すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

共同利用の実績
(地域の医療従事者による診療、研究又は研修のための利用)

1 共同利用の実績

※1 前年度の共同利用を行った医療機関の延べ機関数、これらの医療機関のうち申請者と直接関係のない医療機関の延べ機関数、共同利用に係る病床の病床利用率等を記入すること。

- (1) 共同利用を行った医療機関の延べ機関数 3,518機関
(これらの医療機関のうち申請者と直接関係のない医療機関の延べ機関数 3,518機関)
(2) 共同利用に係る病床の病床利用率 17.4%

2 共同利用の範囲等

※2 病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象としたものを記入すること。

- (1) 共同利用設備 地域医療室、講義室、講堂、図書館
(2) 開放型病床 8床 (751号室4床、762号室4床)
(3) 共同利用検査機器 CT、MRI、上部消化管内視鏡、腹部超音波、心臓超音波、脳波、
アイソトープ、マンモグラフィー、骨密度、ホルタ一心電図

共同利用に関する規程	有	
利用医師等登録制度の担当者	氏 名	
	職 種	事務

※3 共同利用に関する規程がある場合には、当該規程の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住所	主たる診療科	申請者との経営上の関係
資料1のとおり				

※4 申請に係る病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関についてのみ記入すること。

5 常時共同利用可能な病床数 8 床

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

救急医療提供の実績

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の様態	勤務時間	備考
資料2のとおり					

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	名称（ I C U、H C U ） 18床
専用病床	名称（ 救急病棟 ） 6床

※ 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記入すること。

3 重症救急患者に必要な検査又は治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
救命救急センター	848.012m ²	(主な設備) 救急蘇生装置、除細動器、ペースメーカー、心電計、ポータブルエックス線撮影装置、呼吸循環監視装置、CT・X線室	可
血管内治療センター	423.92m ²	(主な設備) 移動型X線テレビ装置、自己知回収装置	可
手術室	2,009.32m ²	(主な設備) 血管撮影装置、手術用顕微鏡システム、I T Vシステム	可
集中治療室	1,145.75m ²	(主な設備) 救急蘇生装置、除細動器、ペースメーカー、心電計、ポータブルエックス線撮影装置、呼吸循環監視装置	可

4 救急医療の提供の実績

救急用又は患者搬送用の自動車により搬入した救急患者の延べ数	9,616人（ 3,495人）
上記以外の救急患者の延べ数	15,413人（ 2,060人）
合計	25,029人（ 5,555人）

※ () 内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

5 保有する救急用又は患者搬送用の自動車の出動回数

0回

6 備考

救急病院の認定告示 令和4年12月2日（認定期間令和4年12月1日～令和7年11月30日）
救命救急センターの指定年月日 平成27年10月1日

※特定の診療科において、重症救急患者の受入れ体制を確保する場合は、その旨を記入すること。

既に、「救急病院等を定める省令」（昭和39年厚生省令第8号）に基づき知事の救急病院の認定を受けている病院及び「救急医療対策の整備事業について」（昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知）に基づき救急医療を実施している病院にあつては、その旨を記入すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

1 研修の内容

資料3のとおり

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	29回
(2) (1) の合計研修者数	731人

※ 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものも記入すること。

(2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

- (1) 研修プログラムの有無 有
 (2) 研修委員会の有無 有
 (3) 研修指導者

氏名	職種	診療科	役職等	臨床経験年数	備考
	医師	腎臓内科	医務局長兼主任部長	26年	研修責任者
	医師	外科	部長	28年	
	医師	呼吸器内科	主任部長	27年	
				年	
				年	

※ 研修責任者については、備考欄にその旨を記入すること。

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設	床面積	設備概要
地域医療室	36m ²	(主な設備) 電子カルテ、プロジェクター、スクリーン
講堂	187.92m ²	(主な設備) プロジェクター、スクリーン、ホワイトボード、放送機材
講義室	41.19m ²	(主な設備) プロジェクター、スクリーン、ホワイトボード

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

1 管理責任者等

	氏 名	職 種	役 職 等
管 理 責 任 者 の 氏名、職種、役職等		医師	院長
管 理 担 当 者 の 氏名、職種、役職等		事務	事務局管理課長

2 諸記録の保管場所及び分類方法

	保 管 場 所	分 類 方 法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、 手術記録、看護記録、検査所見記録、 エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約	管理課、管理 課サーバー 室、医事課力 ルテ庫	日付順、一元番号法
病院の管理及び運 営に関する諸記録	共同利用の実績	医療連携室
	救急医療の提供の実績	医事課
	地域の医療従事者の資質の向上を図る ための研修の実績	医療連携室
	閲覧の実績	
	紹介患者に対する医療提供及び他の病 院又は診療所に対する患者紹介の実績 の数を明らかにする帳簿	医療連携室

※ 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法
及び閲覧の実績

閲 覧 責 任 者	氏 名	職 種	役 職 等	
		事務	事務局医事課長 兼医療連携室主幹	
閲 覧 担 当 者	氏 名	職 種	役 職 等	
		事務	医療連携室 医療連携担当主査	
閲 覧 場 所	さくらカウンター Tri-netかすがい			
総 閲 覧 件 数	医 師	歯科医師	地方公共 團 体	
	25, 669件	609件		その他 合 計 26, 278件
閲 覧 手 続 の 概 要	さくらカウンター さくらカウンターにて申し出を受け付け、当院主治医、診療科部長及び病棟看護師へ連絡し、さくらカウンターにて職員が同席し閲覧していただく。 Tri-netかすがい システムを導入している医療機関と当院の間で患者の紹介があつた場合、医療機関に設置されている端末にて閲覧が可能となる。			

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

医療法施行規則第9条の19第1項に規定する委員会の開催の実績

1 委員会の開催回数 4回

2 委員会における議事の概要

※委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

(1) 令和6年度 第1回 春日井市民病院医療連携協議会

開催日時：令和6年5月16日（木）午後2時30分から午後3時まで

開催場所：春日井市民病院 講堂

出席者：12名（欠席者3名）

概要：紹介患者、救命救急センターの受入状況について

入退院調整について

地域の医療・介護従事者を対象とした研修会について

医療福祉相談の実績について

意見交換

(2) 令和6年度 第2回 春日井市民病院医療連携協議会

開催日時：令和6年8月1日（木）午後2時30分から午後3時5分まで

開催場所：春日井市民病院 講堂

出席者：13名（欠席者2名）

概要：紹介患者、救命救急センターの受入状況について

入退院調整について

地域の医療・介護従事者を対象とした研修会について

医療福祉相談の実績について

意見交換

(3) 令和6年度 第3回 春日井市民病院医療連携協議会

開催日時：令和6年11月14日（木）午後2時30分から午後3時10分まで

開催場所：春日井市民病院 講堂

出席者：11名（欠席者4名）

概要：紹介患者、救命救急センターの受入状況について

入退院調整について

地域の医療・介護従事者を対象とした研修会について

医療福祉相談の実績について

意見交換

(4) 令和6年度 第4回 春日井市民病院医療連携協議会

開催日時：令和7年2月6日（木）午後2時30分から午後3時まで

開催場所：春日井市民病院 講堂

出席者：11名（欠席者4名）

概要：紹介患者、救命救急センターの受入状況について

入退院調整について

地域の医療・介護従事者を対象とした研修会について

医療福祉相談の実績について

意見交換

患者相談の実績

患者相談を行った場所	緩和ケアセンター さくらカウンター 医療連携室		
患者相談担当者	氏名	職種	役職等
		看護師 看護師 看護師 社会福祉士	看護局看護師長 看護局看護師長 看護局看護師長 医療社会事業担当主査
患者相談件数	6,477件		

内訳

○治療・検査等に関すること	603件
○症状・副作用等に関すること	720件
○セカンドオピニオン	30件
○受診方法・入院に関すること	91件
○転院に関すること	1,694件
○施設入所に関すること	208件
○医療機関の紹介に関すること	7件
○在宅医療に関すること	709件
○緩和ケアに関すること	198件
○在宅生活に関すること	102件
○介護・看護・養育に関すること	192件
○社会生活に関すること	55件
○社会保障制度等に関すること	86件
○生きがい・価値観に関すること	278件
○不安・精神的苦痛に関すること	958件
○グリーフケア	13件
○告知に関すること	234件
○コミュニケーションに関すること	36件
○苦情・医療安全等に関すること	24件
○その他	239件

※ 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

居宅等における医療の提供の推進に関する支援の状況

居宅等医療提供施設等における連携の緊密化のための支援等の実績

- 春日井市内及び近隣市町村に所在する訪問看護ステーションの看護師を対象に、病院と地域の看護師の情報共有の円滑化と連携強化による相互の資質向上を目指し、訪問看護懇話会を実施した。
(事業所ごとに14回、全体での集会懇話会1回(17事業者参加))

- 患者が退院後に切れ目なく医療や介護サービスが受けられるよう、院内の職員と在宅療養に関わる地域の医療・福祉・介護従事者が患者家族を交えて情報共有する退院前カンファレンスを実施した。(177件)

医療を受ける者又は地域の医療提供施設に対する情報の提供の実績

- 医療機関訪問(延べ100医療機関)
- 診療表の配布、春日井市民病院が主催する研修会等の案内(延べ4,272施設)
- 機関誌の発行
患者向け情報誌(7回)、医療機関向け情報誌(3回)
- ホームページ(隨時)

その他居宅等における医療の提供の推進に関し必要な支援の実績

- クリニックや訪問看護ステーションなどの施設職員と面談し、退院調整に関する情報提供や意見交換を行った。(10事業所)

その他地域医療支援病院に求められる取組みの状況

1 連携体制を確保するための専用の室、担当者

専用の室の名称	医療連携室		
担当者	氏名	職種	役職等

事務

医療連携担当主査

2 病院の機能に関する第三者による評価

評価を行つた機関名	公益財団法人日本医療機能評価機構
評価を受けた時期	2021年12月17日～2026年12月16日

※ 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

3 退院調整部門の取組

退院調整部門の実績

- | | |
|-----------------|--------|
| ○転院または施設入所に係る調整 | 2,197件 |
| ○居宅等への退院に係る調整 | 630件 |

4 地域連携を促進するための取組みの実績

策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容

- (1) 大腿骨頸部骨折地域連携パス
脳卒中地域連携パス
- (2) がん地域連携パス（胃がん、大腸がん、乳がん、肝がん、肺がん、前立腺がん）
- (3) 急性冠症候群地域連携パス
- (4) 心不全ノート、セルフケアブック

地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み

- (1) 地域連携パス会議の開催
- (2) がん地域連携パスコーディネーターによる、データの確認・管理、患者・医療機関への運用説明等
がん地域連携ネットワーク会議の開催
- (3)・(4) 医師会と協働して作成し、医療機関を訪問して運用説明を行っている。
- (4) オンライン勉強会

5 病院が果たしている役割に関する情報発信の実績

情報発信の方法

医療機関を訪問、市広報、ホームページ、SNS、機関誌、院内掲示

内容等の概要

診療科の紹介、当院の取り組み、研修会の案内、診療表、診療実績の公表